インマヌエル中目黒キリスト教会
2014年５月18日聖日礼拝

使徒の働き連講㉙
「万民の主」
使徒の働き10章23-43節

竿代照夫牧師

聖書朗読

新約聖書

使徒の働き10章23-36節
及び43節

聖書本文は新改訳聖書第三版
（©新日本聖書刊行会）を使用しています。

第二版の聖書はp227～/ 第三版の聖書はp248～

23 それで、ペテロは、彼らを中に入れて
泊まらせた。明くる日、ペテロは、立っ
て彼らといっしょに出かけた。ヨッパの
兄弟たちも数人同行した。
24 その翌日、彼らはカイザリヤに着いた。
コルネリオは、親族や親しい友人たち
を呼び集め、彼らを待っていた。
25 ペテロが着くと、コルネリオは出迎えて、
彼の足もとにひれ伏して拝んだ。

26 するとペテロは彼を起こして、「お立ちなさい。私もひとりの人間です」と言った。
27 それから、コルネリオとことばをかわしながら家に入り、多くの人が集まっているのを見て、

28 彼らにこう言った。「ご承知のとおり、ユダヤ人が外国人の仲間に入ったり、訪問したりするのは、律法にかなわないことです。ところが、神は私に、どんな人のことでも、きよくないとか、汚れているとか言ってはならないことを示してくださいました。
29 それで、お迎えを受けたとき、ためらわずに来たのです。そこで、お尋ねしますが、あなたがたは、いったいどういうわけで私をお招きになったのですか。」

30 するとコルネリオがこう言った。「四日
前のこの時刻に、私が家で午後三時の
祈りをしていますと、どうでしょう、輝い
た衣を着た人が、私の前に立って、
31 こう言いました。『コルネリオ。あなたの
祈りは聞き入れられ、あなたの施しは
神の前に覚えられている。
32 それで、ヨッパに人をやってシモンを招
きなさい。彼の名はペテロとも呼ばれて
いる。この人は海べにある、皮なめし
のシモンの家に泊まっている。』

33 それで、私はすぐあなたのところへ人
を送ったのですが、よくおいでくださいました。いま私たちは、主があなたにお命じになったすべてのことを伺おうとして、みな神の御前に出ております。」
34 そこでペテロは、口を開いてこう言った。「これで私は、はっきりわかりました。神はかたよったことをなさらず、
35 どの国の人であっても、神を恐れかしこみ、正義を行う人なら、神に受け入れられるのです。

36 神はイエス・キリストによって、平和を
宣べ伝え、イスラエルの子孫にみことば
をお送りになりました。この
イエス・キリストはすべての人の主です。

43 イエスについては、預言者たちもみな、
この方を信じる者はだれでも、その名
によって罪の赦しが受けられる、とあかししています。」

説　教

使徒の働き連講㉙

「万人の主」

使徒の働き10章23-36節

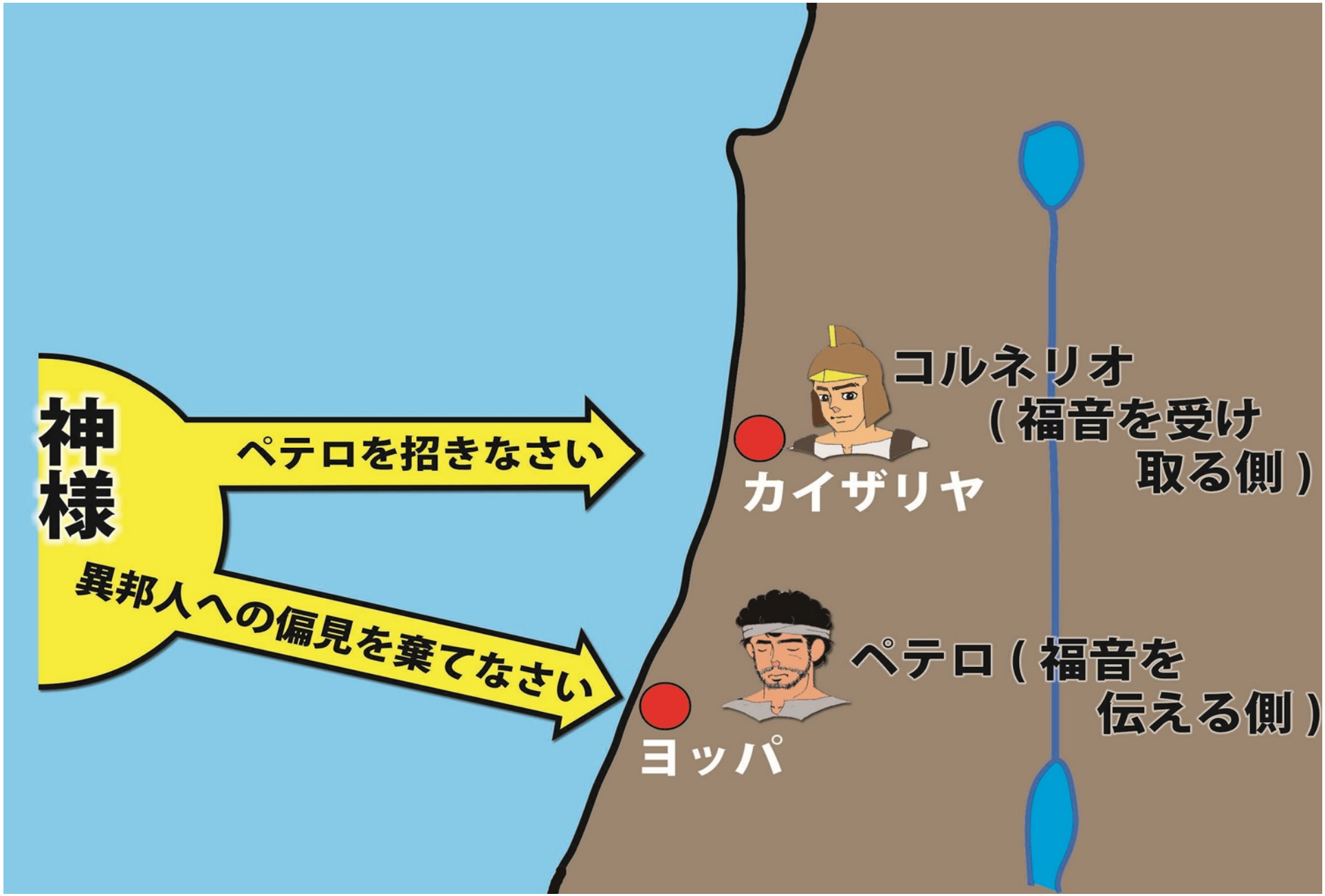
及び43節

竿代照夫　牧師

主テキスト

「これで私は、はっきりわかりました。
神はかたよったことをなさらず、
どの国の人であっても、神を恐れかしこみ、
正義を行なう人なら、神に受け入れられるのです。神はイエス・キリストによって、平和を宣べ伝え、イスラエルの子孫にみことばをお送りになりました。このイエス・キリストはすべての人の主です。」
（使徒10:34－36）

復習：神は異邦人伝道の障害を除かれる



- コルネリオへのメッセージ：あなたがたが神から離れていない

- ペテロへのメッセージ：外国人嫌いを止めなさい（イラスト②）

Peter, Kill & Eat!

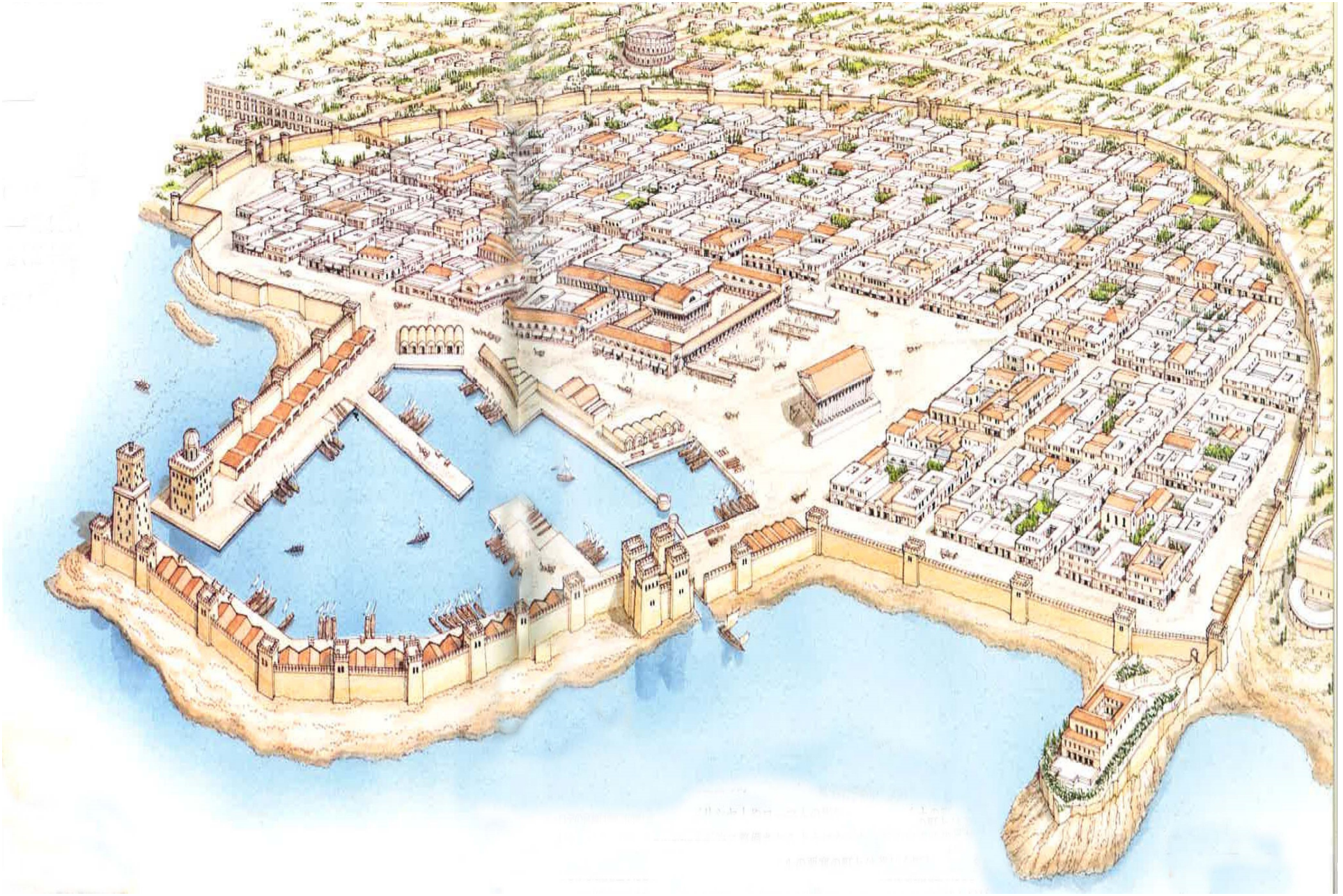
A. コルネリオの使者（２３－２４節）

１. 使者の到着と伝言

２. ペテロ、カイザリヤに行く（地図参照）

シリヤ
ダマスコ
カペナウム
ガリラヤ
デカポリス
カイザリヤ
サマリヤ
ペレヤ
ヨッパ
スカル
ルダ
エルサレム
アゾト
ユダヤ
ガザ

3. 待ち受けていたコルネリオ家（絵図参照）



B. コルネリオ家の歓迎（25－29節）

1. 「同じ人間」としての挨拶

2. ペテロは偏見が除かれた理由を説明する

3. ペテロは招待の理由について質問する

C. コルネリオの説明（30－33節）

1. 四日前の幻

2. コルネリオ家の敬虔な態度

D. ペテロは、福音の普遍性を説く（34－36節）

1. ペテロがはっきり分かった理由

2. 神は雄大な、そして公平な方である：
「わたしの民エジプト、わたしの手でつくったアッシリヤ、わたしのものである民イスラエルに祝福があるように。」（イザヤ19：25）

3. 神は、敬虔で正義を行う民を受け入れる

４．イエス・キリストは万民の主である

- 特定の国、地域、人種にとらわれない
- キリストの救いは万民のため
- （事実）救いは万民に及んでいる
- 真実に呼び求める「私の」主でもある：

「ユダヤ人とギリシヤ人との区別はありません。同じ主が、すべての人の主であり、主を呼び求めるすべての人に対して恵み深くあられるからです。『主の御名を呼び求める者はだれでも救われる。』のです。」
（ローマ10：12－13）

おわりに

キリストを「私の主」と捉えよう